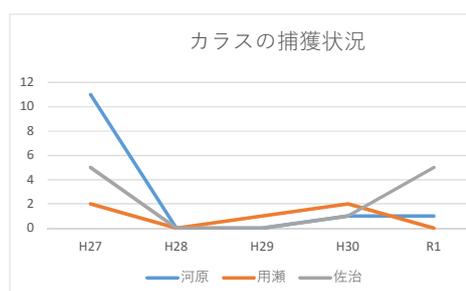
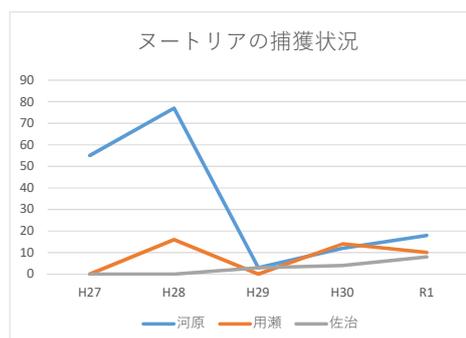
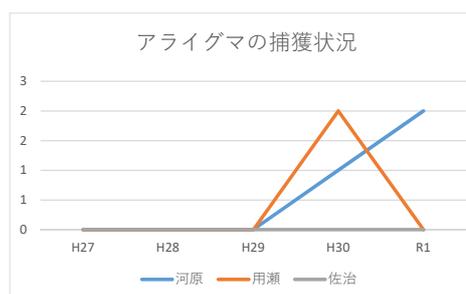
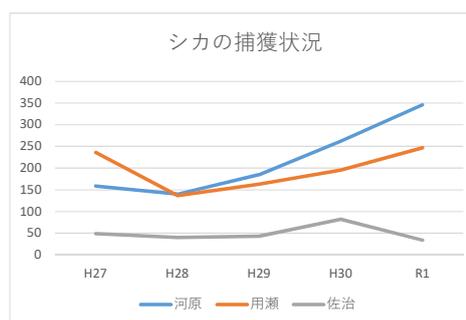
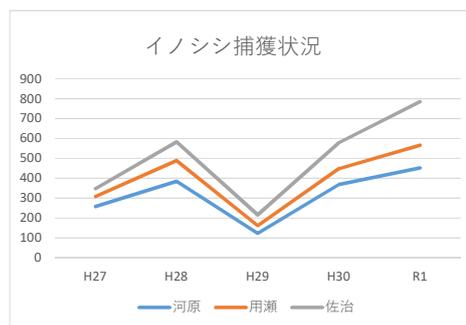


ここ5年間の有害鳥獣捕獲状況

	地域別	H27	H28	H29	H30	R1	平均
イノシシ	旧市	1,148	1,299	514	1,033	1,237	1,046
	国府	147	300	96	275	361	236
	福部	259	286	93	262	458	272
	河原	258	385	123	369	452	317
	用瀬	50	104	39	79	114	77
	佐治	40	94	54	131	219	108
	気高	97	140	48	75	78	88
	鹿野	190	247	121	233	336	225
	青谷	345	414	134	351	390	327
	計	2,534	3,269	1,222	2,808	3,645	2,696
シカ	旧市	40	26	65	144	234	102
	国府	237	147	107	258	567	263
	福部	20	33	44	85	161	69
	河原	159	140	185	262	346	218
	用瀬	236	137	163	196	247	196
	佐治	49	40	43	82	34	50
	気高	8	10	3	6	119	29
	鹿野	16	14	36	46	56	34
	青谷	1	8	6	5	9	6
	計	766	555	652	1,084	1,773	966
アライグマ	旧市	6	3	6	8	8	6
	国府	2	0	0	1	1	1
	福部	0	1	1	1	0	1
	河原	0	0	0	1	2	1
	用瀬	0	0	0	2	0	0
	佐治	0	0	0	0	0	0
	気高	0	0	1	0	1	0
	鹿野	0	0	0	0	0	0
	青谷	0	0	0	0	0	0
	計	8	4	8	13	12	9
ヌートリア	旧市	206	224	129	145	276	196
	国府	13	28	16	46	14	23
	福部	54	66	42	2	11	35
	河原	55	77	3	12	18	33
	用瀬	0	16	0	14	10	8
	佐治	0	0	3	4	8	3
	気高	0	1	91	104	123	64
	鹿野	0	0	23	10	22	11
	青谷	2	22	41	16	88	34
	計	380	434	348	353	570	417
カラス	旧市	395	248	224	143	187	239
	国府	1	0	0	0	4	1
	福部	229	145	158	248	263	209
	河原	11	0	0	1	1	3
	用瀬	2	0	1	2	0	1
	佐治	5	0	0	1	5	2
	気高	0	0	0	0	0	0
	鹿野	0	0	1	0	0	0
	青谷	5	0	0	0	0	1
	計	648	393	384	395	460	456



ニホンザルの被害防止

地域で防ごうサル被害

ニホンザル（以下サルとする）は学習能力が極めて高い動物です。どんなときに何をすれば農作物を守れるのかを知るためには、まず知恵比べの相手であるサルのことを知っておくこと。“捕獲ありき”では被害軽減効果はあまり期待できません。

1. 何が好物？

さるは、雑食性で、植物性のものを中心に食べます。果実や虫も好んで食べますが、肉や魚は食べません。トウガラシ、コンニャク、シソ、ゴボウ、ショウガ、ワラビなど辛味や香り、アクの強い植物を避ける傾向が見られます。



2. 人より能力は優れるの？

視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚は人間とほぼ同じです。情報は、もっぱら目で見て集めています。なので、日の出から日没までの明るい時間だけ行動し、夜間は活動しません。

また、高い学習能力を持ち、集落内の食べられるものを少しずつ覚えていきます。記憶力は抜群で、一度味わった恐怖体験は忘れません。場所や状況も覚えていきます。

3. 強いオス猿（ボス猿）が群れを率いている？

サルの群れは、メスと子どもを中心に構成され、十数頭から百頭を超えることもあります。野生のサルは、メス中心の母系社会で、オスは群れにあわせて動きます。しかし、5～8歳になると群れを離れて単独（ハナレザル）で行動したり、他の群れに移ったりします。

4. 繁殖力は高いの？

最初のお産は、生後6～7歳で、2～3年くらいに1頭のペースで出産します。爆発的に個体数が増える動物ではありません。ただし、エサが豊富にあり、栄養状態が良ければ、年1頭ずつ産む場合があります。寿命は20歳前後です。

5. 人なれするの？

新しいものや状況、場所を警戒しますが、学習力が高いので、“怖くない”、“危害を加えない”、“楽に美味しいものが食べられる”と分かれば、徐々に大胆な行動にエスカレートします。こういった“人慣れ”が進むと追い払うのは難しくなります。

6. 捕獲すれば被害は減るの？

サルの生態や群れの特性を把握しないままの闇雲に捕獲すると、群れの社会性をかく乱して群れを分裂させ、被害問題の広域化や煩雑化を招く場合があります。

まずは、餌となるような生ごみや取り残しの果実をなくすること、追い払いや防護柵など、サルにとって居心地の悪い地域にすることが大切です。

ニホンザルを見かけたら

お願い①

ニホンザルの生息状況や行動形態などを把握するため、ニホンザルを目撃したら、目撃した場所・頭数、被害状況などを鳥取市農政企画課鳥獣対策係又は各総合支所産業建設課へ報告してください。

鳥取市農政企画課鳥獣対策係	0857-30-8303
国府町総合支所産業建設課	0857-39-0560
福部町総合支所産業建設課	0857-75-2814
河原町総合支所産業建設課	0858-76-3115
用瀬町総合支所産業建設課	0858-87-3786
佐治町総合支所産業建設課	0858-88-0215
気高町総合支所産業建設課	0857-82-3154
鹿野町総合支所産業建設課	0857-84-2012
青谷町総合支所産業建設課	0857-85-0015



お願い②

目撃したニホンザルが近づくと逃げる場合は、棒などを持って威嚇し、その場から積極的に追払ってください。出来る限り多くの人數で、しつこく行くと効果が高くなります。

なお、ご高齢の方など体力に自信のない方はその場から避難しましょう。

また、追い払ってもなかなか逃げず、逆に威嚇してくる場合は、人慣れした危険なザルの可能性がありますので、興奮させないように速やかにその場から離れましょう。

被害防止対策

獣害の発生する場所＝加害獣に好まれる場所

それは

- 1 採食可能な場所
- 2 安全な場所

双方の条件を満たすと獣害は発生する。

被害の防止には

この2つの条件を満たさない場所にしていくこと、それと同時に、被害を発生させる個体の捕獲（選択捕獲）や、群れの個体数を適切な数に管理する捕獲（管理捕獲）が有効です。

官民のパワーを結集してサル被害に立ち向かおう！

1 追い払い

- 集落に出没したサルは、動物駆逐用煙火・モデルガン・ゴム銃・スリングショットなどを使って、積極的に「追い払い」を行い、できるだけ集落から離れた山へ追い払いましょう。
- 追い払いは単なる脅しと学習されないように、音と痛みをセットにすること。爆音器など音だけの追い払いは、すぐ馴れてしまいます。
- サルを見たらいつでも追い払い、徹底したサルへの嫌がらせにより、集落が危険な場所・居心地悪い場所であることを認識させましょう。できるだけ多くの人で行うと効果的です。
- ハナレザル（※1）は、人慣れした個体でない限り定着することはまれなので、行政と住民が協力し、粘り強く追い払いを継続することが必要です。

※1ハナレザル：群れの中で生まれたオスは、4～5歳で群れを離れ単独生活を送ります。その後、他の群れに合流したり、数頭単位のオスグループを形成したり、そのまま「ハナレザル」として単独生活を送るものもいます。

2 誘引物を除去する〈餌付けになる行為を止める〉

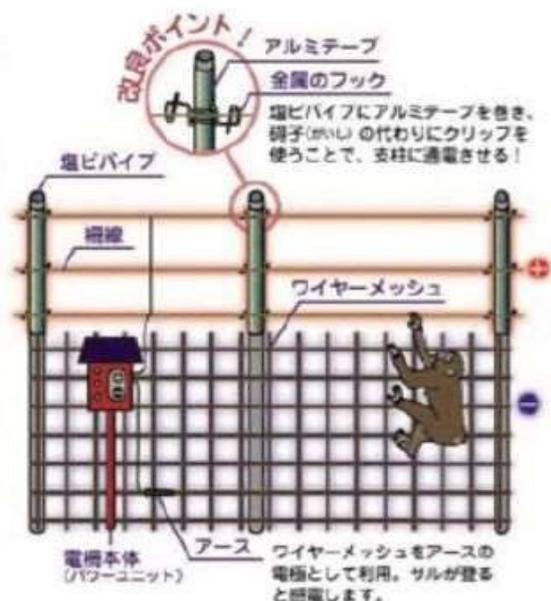
- サルの餌になる物（クズ野菜・クズ果実・生ゴミなど）を農地に放置したり、山などに投棄するのを止め、埋設などより適切に処分しましょう。
- 取り残した野菜や果実は、早期に除去し、放棄された果樹は、伐採するか早期にもぎ採りましょう。
- 軒先や軒下などの野外に農作物を置かないこと。置く場合は、防護網等を設置しましょう。
- 墓などのお供え物は、お参り後に持ちかえりましょう。

3 侵入防止柵を設置

- サル対策のための侵入防止柵は、電気柵（ネット型）有効です。柵設置後の草刈りなどの労力や積雪等を勘案して、下部が金網柵と上部に電気柵を組み合わせた複合柵が特に有効です。
- 柵の高さは2m程度必要で、傾斜地では高くする必要があります。また、地面から足を離して登っても電気ショックを受けるように、電気柵のプラスとマイナスの電線は交互に配線する必要があります。
- 樹木や構築物を伝わった侵入を防ぐため、柵は樹木などから5m以上離したり、柵周辺の樹木を伐採・枝落としも有効です。

香美町(小代区)考案 通電式支柱「おじろ用心棒」

鳥取県開発「シシ退くん」を改良



4 有害鳥獣捕獲

- 捕獲は、群れを分散させ、被害の範囲を拡大させる可能性があることから、群れの行動域を把握しながら慎重に行う必要があります。また、箱わな等による捕獲は、エサでおびき寄せて捕まえるので、餌付けにより農作物の味を覚えさせ、里に引き寄せてしまう可能性があります。
- 集落周辺に長く定着し、被害を発生させる個体、いわゆる人慣れしたハナレザルについては人身被害を発生させる可能性が高いため、積極的に有害鳥獣捕獲（※2）により、捕獲を図るものとします。
- また、集落周辺で長期間にわたり群れで行動し、被害を発生させるニホンザルも同様に捕獲するものとします。
- サルが捕獲された時には、捕獲檻の傍に群れが居る時は、捕獲個体の回収を避けます。捕獲処置の作業を群れに観察されると危険性を認知され、捕獲効率が悪くなる可能性があります。また、処置は群れが居なくなった時か追い払った後に行ないましょう。

※2 有害鳥獣捕獲：「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」第9条に規定される、鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害防止の目的のための捕獲許可。
被害が生じているか又はそのおそれがあり、原則として、防除対策によっても被害が防止できないと認められた場合に、所定の手続きを経て、その捕獲が認められる。
なお、その捕獲許可権限は、知事から市長に移譲されている。

有害捕獲は、駆除数よりも犯人を捕えることが重要



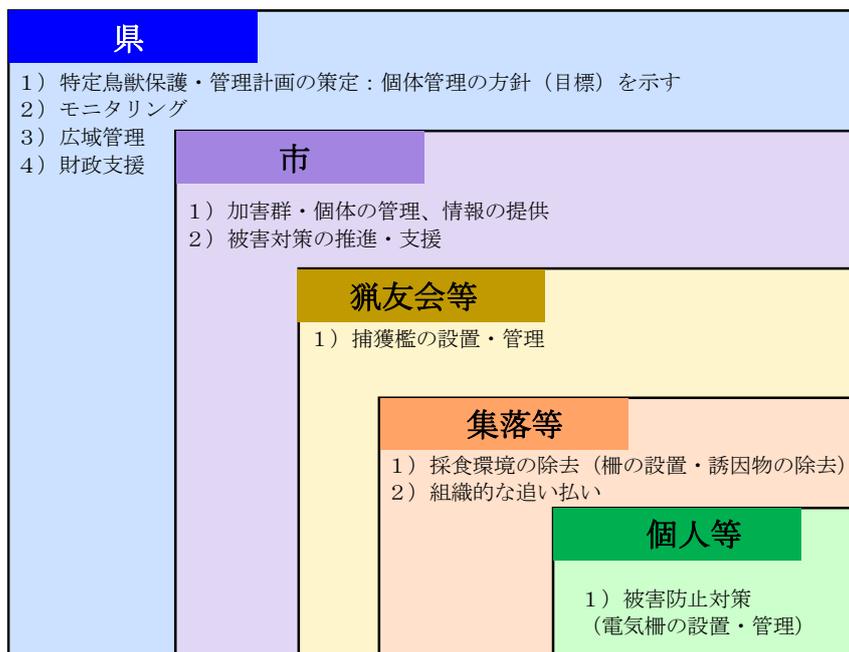
農作物の被害



捕獲用の箱わなの設置

計画的な管理を実行するための各主体の役割

ニホンザルの計画的な管理を行う上では、実行すべき内容（役割）は多岐に渡るため、県、市、猟友会、集落・個人が役割を分担して担う必要があります。



参考

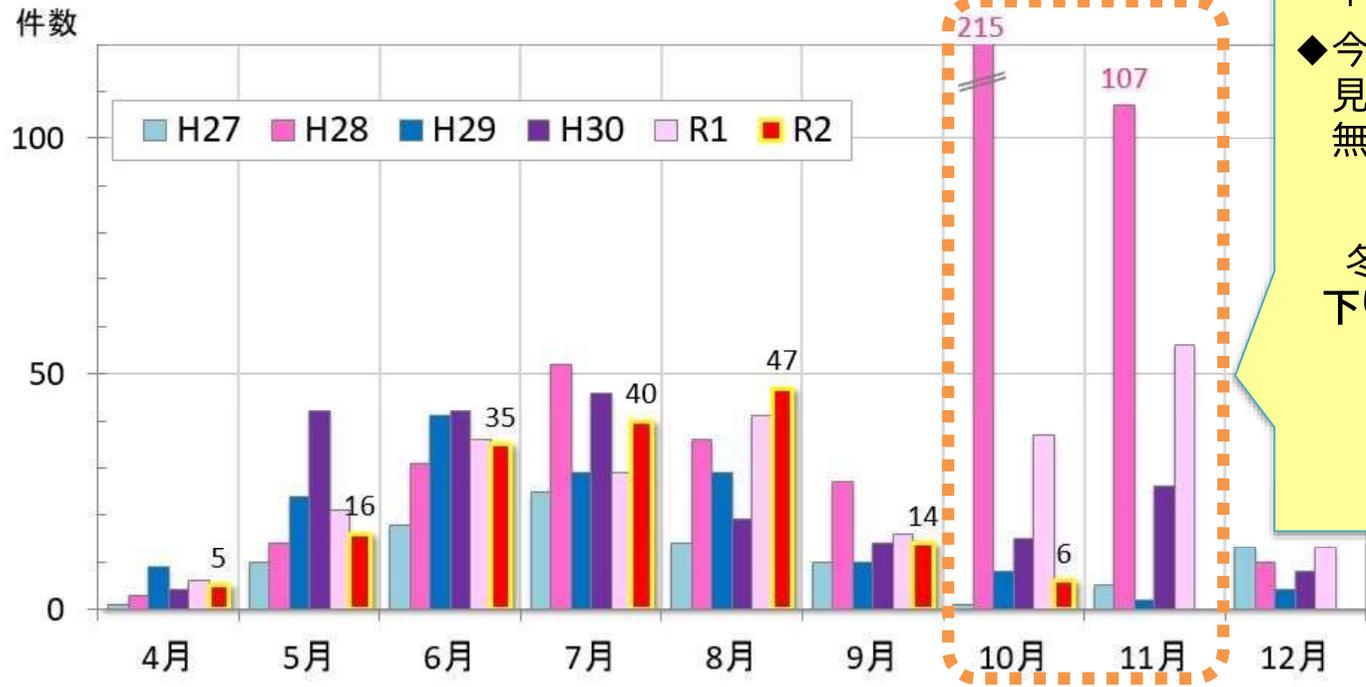
鳥取市の鳥獣被害防止の補助事業

	事業名	対象者	補助率	補助対象経費
地域による追い払い等の支援	有害鳥獣被害対策事業	農業協同組合 農業者で組織した団体 自治会の代表 等	1/2	注意喚起の看板製作又は忌避剤購入など
			2/3	追い払い用具の購入（花火、エアガンなど）
	集落づくり推進支援対策事業	農業者で組織した団体 自治会又は集落	10/10 ただし 補助額上限 30万円	地域ぐるみで取り組む 研修会、誘因物の除去、侵入防止柵の点検・修繕などの経費
侵入防止の支援	有害鳥獣侵入防止柵設置事業	農業協同組合 農業者で組織した団体 各地区鳥獣対策協議会 認定農業者 新規認定農業者	2/3 (4/5)	ワイヤーメッシュ柵、電気柵、防鳥網などの資材購入費用 (市の補助基準単価が上限)
捕獲への支援	捕獲檻の貸出事業	農業協同組合 農業者で組織した団体 各地区鳥獣対策協議会	無料	予算の範囲内で購入し、貸出
	捕獲奨励金	有害鳥獣捕獲委託者	定額	イノシシ（猟期0円、猟期外1万円）、シカ（猟期6千円～1万4千円、猟期外1万1千円～1万9千円）、アライグマ（1万円）、ヌートリア（3千円）、カラス（600円）、 ニホンザル（5万円）
	狩猟免許取得事業	新たに狩猟免許を取得する者	10/10	第一種（銃砲）、第2種（網・なわ猟）狩猟免許の取得、更新（2回目まで）にかかる経費など

クマの出没件数（月別）の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計	備考	堅果類（ドングリ） 結実状況			
												ブナ	ミズナラ	コナラ	クリ
H27	1	10	18	25	14	10	1	5	13	100		並作上	並作上	並作上	並作下
H28	3	14	31	52	36	27	215	107	10	495	大量出沒	大凶作	並作下	並作下	並作下
H29	9	24	41	29	29	10	8	2	4	158		並作上	豊作	豊作	並作上
H30	4	42	42	46	19	14	15	26	8	217		大凶作	豊作	並作下	並作上
R1	6	21	36	29	41	16	37	56	13	260		大凶作	並作下	並作上	並作下
R2	5	16	35	40	47	14	6			163	10/15時点	凶作	並作下	凶作	凶作
東部	4	12	24	35	44	10	4			133					
中部	1	2	2	3	2	3	1			14					
西部	0	2	9	2	1	1	1			16					

↑ 結実調査結果（10/14中間報告）



◆ 今年の9月末までの出沒件数は平年並。

◆ 今秋のドングリ類の実りは少ない見込。(R1も豊作のドングリ類が無く、秋の出沒が多かった。)

冬眠前にエサを求めて人里に下りてくるクマが増えるおそれ。

秋(10~11月)はクマ出沒増加に要注意